

コミュニティ・スクールだより

(学校運営協議会だより) 令和3年5月15日発行

令和2年度のまとめ

令和2年度の小中学校の教育活動を振り返る学校運営協議会が2月に行われました。コロナ禍で行事や様々な活動が制限される中で、様々な工夫による各学校の取り組みを高く評価されました。協議会では、議題として学校評価の報告と協議を行いました。

小学校では、4段階に分け、教員、児童、保護者の各評価を平均化した数値で表した結果から成果と課題が報告されました。

【成果】	①授業の理解（授業で学習内容を定着させているか）	3.2
	②体力の向上（学校で十分体を動かし体力をつけているか）	3.2
	③教育相談（一人一人を理解した支援ができているか）	3.3
【課題】	①小中一貫教育の推進	2.9
	（令和2年度の取り組みとして、 ・小1から中3までの9年間で身に着ける「学習スタンダード」・「生活スタンダード」 ・郷土の理解・愛着を育てる「ふるさと教育」）	
	②いじめ根絶の取り組み ※保護者からの評価が2.9と低い	3.2
	（学校の対人関係を高める取り組みが理解されていないのではとの反省）	

中学校でも、小学校同様に4段階の評価を行い、達成率の高い項目を成果とし、比較的低いものを課題として押さえています。

【成果】	①授業の理解（授業への取り組み・理解ができているか）	80%以上
	②学校生活（きまりを守り、生活ができているか）	90%以上
	③家庭生活（生活のリズムを整え生活しているか）	70%以上
【課題】	①平日、休日の家庭学習時間を1時間以上している	50%以下
	②悩みを相談できる先生がいるかの質問にそう思わない	30%
	と答えた生徒（相談しやすい環境の整備が必要との反省）	

令和3年度における子どもたちの活動へのさらなる支援が期待されます。

今年度の第1回目学校運営協議会は6月上旬に開催されます。